

徳地アドベンチャー教育プログラム「1日体験会」

①7月28日(火) ②8月7日(金) ※3月27日・4月26日・5月10日・7月23日 中止

【ねらい】 「徳地アドベンチャー教育プログラム」(以下、TAP)を利用する団体の引率の方に、TAPを体験してもらい基本的な理論を理解していただくことで、利用当日のTAPの教育的効果を高める。

【参加者】 ①:7名(男性2名 女性5名) ②:14名(男性8名 女性6名)

【プログラムの内容】

(1) 日程

共通	9:30	9:40	12:30	13:30	14:10	14:20	14:50
	開講式 OR	TAP体験	昼食	TAP説明	閉講式	利用説明会 全体	個別事前打ち合わせ

(2) 内容

○TAP体験: 目標への達成感とグループの一体感とともに、気づきを促すファシリテーターの関わり方を感じる。

○TAP説明: 以下のことを知る

・TAPの理論(目的、体験学習サイクル)・チャレンジが人を成長させること・各活動の進め方と意味・ふりかえりの意義

○利用説明会: 本所を利用する際に必要な手続きや、利用当日の引率に必要な知識を理解する

○開講式

開講式では体験会の意義について確認した。TAPを利用する団体の引率の方が参加されているため、指導者としての立場と参加者としての立場の両面から参加することをお願いした。TAPを実際に体感していただくようお願いした。また、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点を取り入れたアクティビティの提供について体験的に知っていただく旨を説明した。TAPを初めて体験する参加者が多かった。

○TAP体験



初対面の参加者同士の緊張をほぐす活動からスタートした。少しずつコミュニケーションが増えていく中で、人と関わることを心地よく感じるようになっていく様子が見られた。その後、できないことや失敗、ちょっと恥ずかしいこともユーモアにできる感覚を味わうアクティビティを行い、「失敗しても大丈夫」と思えるような雰囲気をつくっていった。活動で感じたことやグループの様子が変化してきたタイミングでふりかえりの時間をもった。出てくる言葉が、徐々に指導者の立場から参加者として自分の感じた内容が変わっていく様子から、グループへの所属感や自分を開放する素地が育まれていったように感じる。

○TAP体験(エレメント)



TAPでは、グループの発達に合わせて課題解決に取り組む活動を提供している。グループが直面している課題やまだスポットが当たっていない感覚を掘り起こすきっかけを参加者たちが活動の中でのアクションを通して意思疎通を図り、合意形成をしていく。目標を設定し、その解決のために自分たちができることを探し、やってみる。結果や過程を受けて、リトライを繰り返すといった体験学習サイクルが自然と回っていく様子がたくさん見られた。

その際、本所の特徴的な施設である「エレメント」をツールにグループの力を実感する体験をしてもらった。身体接触を避けつつ、ワイヤーの揺れを共有しながら、全員でゴールを目指す。互いの安全が確保されているか、どのタイミング、方法で動いたらいいかについて、自然とアイデアが生まれていた。それぞれが喜び、悔しがり、悩みつつ様々な表情と思いを抱えて活動する様子が印象的であった。

○TAP説明

少人数グループに分かれて、午前中に体験したTAPの効果について、それぞれが感じた事を伝えあった。その後、それぞれが感じた効果を踏まえつつ、本所が考えるTAPの効果や進め方について説明した。説明を聞いた上で、引率の方がどのような目的でTAPを宿泊研修の中に位置付けるか意見が飛び交っていた。

【参加者の声】

参加者からは、「子どもに学ばせたいことを意識しながら活動することができた」「実際に体験することで、より具体的なイメージをもって宿泊学習の計画を立てることができそうだ」「この(コロナ禍の)時期でも生徒が安心して体験できる内容で大変ありがたいと思う」といった声をいただいた。

【成果】

全体を通して満足度4の割合は95.3%であったことから、体験を通してTAPの教育効果を実感してもらうことができたと考えられる。また、アンケートの記載やふりかえりの発言から、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点を取り入れたアクティビティを利用前に体験してもらうことで一定の評価と安心を持ち帰ってもらうことができた。個別の相談時間を設けたことで安心感の増幅に加え、プログラムを目的をもって組み立てることで高まる教育的効果を伝えることができた。

【課題】

できる限り、参加者からの質問に答える時間を設けたが、まだ不十分な点があった。感染症拡大のため計4回分の開催を中止したが、事前相談を兼ねて参加される団体も多く、ウェブ形式での相談実施など代替的な取り組みができるよう施設環境の整備を進めることが急がれる。